

令和元年秋期 釜利谷地区推進連絡会

- 1 日時
令和元年 10 月 7 日（月） 17 : 00～19 : 00
- 2 場所
釜利谷地区センター
- 3 参加者
(地域側) 自治会等地域団体関係 21 名
(支援チーム、その他行政側)
区役所 17 名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 12 名
学校 (小学校・中学校) 2 名
- 4 住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らし続けるために
【説明者 金沢区長】
- 5 第 3 期釜利谷地区地域福祉保健計画 令和元年度上半期振り返り
【部会別報告】
グループ別意見交換のテーマに関連が深い団体から活用報告
《報告団体》
①主任委員・児童委員 ②スポーツ推進委員 ③保健活動推進員
④釜利谷子育て連絡会
- 6 グループ別意見交換
(1) テーマ
①子育てを応援します
②青少年の育成のために
(2) グループごとの意見交換
地域の方々と支援チームが 6 グループに分かれ、上記テーマについて
・各団体の取り組み内容を聞いた感想や地域の実態
・困っていること、取組みたいこと
等を意見交換し、うち 2 グループが代表で、出された意見を発表しました。

【主なご意見】
➤寺子屋小泉宿を夏休み限定で実施している。ミシンや折り紙、料理など毎回 40 人前後が参加している。挨拶もできるようになり、子どもの成長が見られる。
➤さわやかスポーツフェスティバルは青少年指導員とスポーツ推進委員が共同

で開催している。参加してスタンプを集めた人にお菓子やジュースを出している。

- 釜利谷小学校では、学校行事として防災訓練を実施しており、親世代も参加している。
- 他の自治会町内会との情報交換ができていない。各自治会町内会で祭りを行うが、内容の情報（交換）が無いし、時期が重なるので見に行けない。情報交換できれば毎年同じ内容ではなく（他の地域の取組を取り入れて）違うことができるし、子どもが参加するきっかけの一つになるのではないか。
- 地域住民同士（子ども含む）の挨拶が大切。
- お祭り以外の行事に子どもが参加しない。学校から（地域のイベントの）PRをしてもらおうと良いのではないか。
- 子ども会に入りたがらないし、役職を引き受けない人が多い。子ども会はあるが、特定の学年の役員の後任が無いところもある。
- 子どもたちはゲームに夢中だし、子どもたちも忙しくなっている。
- 夏山遊ぶ会では、ハイキング、竹細工など、子どもと親がともに参加できる行事を実施している。
- 挨拶運動に取り組んできた。道で会ったら、「おはよう、こんにちは、こんばんは」の挨拶をする。大人が積極的に声をかけていくことで、子どもも顔を見て挨拶するようになった。
- 世代を超えて、顔の見える関係を作る。言葉を交わし、つながりができれば人が集まってくる。
- 活動のきっかけづくりが必要。参加したい・する人をどう巻き込んで行くか。
- 子ども会活動は、現役世代の関与が低下している。年配者と役割分担をして、活動を活発にして行く。
- （小中学生の）不登校が話題になることが多い。原因が分からない場合もあり、学校から地域での見守りをお願いされることもある。
- 高齢化率が高く、子どもに対する制度がほとんど無い。今年度から、自治会町内会で出産祝い金を出すことにしたり、子どもを優遇する取組を増やしている。
- 自治会町内会が子ども会の取組を把握し、互いに興味を持ち合えるよう、子ども会活動を自治会町内会活動の中に取り込み、補助金も積極的に出してサポートしたところ、活発になってきている。
- 今後、多世代交流として料理を作る場を検討中ということをお話したら、フードバンクの利用を案内された。年に数日から始めて、徐々に定着させて行きたい。
- 親が孤立しないようにすることが大切。母親の会を子ども会の一部として立ち上げる予定。子育てが落ち着いた母親との交流も視野に入れている。